

令和7年度森林環境譲与税の使途について

1 森林環境譲与税の概要

森林環境譲与税は、令和元年度に施行された「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」に基づき、国から都道府県及び区市町村に配分される。

区市町村においては、間伐等の「森林の整備に関する施策」と、人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の「森林の整備の促進に関する施策」に充てることとされている。

2 森林環境譲与税の活用の考え方

区では、森林環境譲与税を原則として以下の用途に活用していくものとする。

(1) 公共建築物の木質化

「台東区建築物等における木材利用の促進に関する方針」(令和4年7月施行)に基づき、公共建築物の木質化を図る。なお、多くの区民の利用が見込まれる施設や子供達が利用する施設を優先する。

(2) 自治体連携によるカーボン・オフセット事業

他の自治体と連携して森林整備に取り組むことで、カーボン・オフセットによる温室効果ガス排出量の相殺を行い、脱炭素化を推進する。

(3) その他普及啓発事業

木材利用の促進を図るため、木材の持つ良さや木材利用の意義について、区民等に対し普及及び啓発の推進に努める。

3 令和7年度 森林環境譲与税の使途

(1) 「多摩の森」活性化プロジェクト

予算額(案) 歳出 7,463千円

・森林整備：約26ha(日の出町)

CO₂吸収量(見込み) 約780t-CO₂/5年

・「多摩の森」自然体験ツアー：計8回開催、台東区民延66人募集予定

・ノベルティグッズの製作：多摩産材シャープペンセット等をツアー参加者全員に配布予定

(2) 「おおさき未来の森づくり」植樹ツアー

予算額(案) 歳出 1,329千円

姉妹都市である宮城県大崎市にて実施するイベント「おおさき未来の森づくり」に区民が参加し、植樹や自然体験を行うツアーを開催する。

・対象：台東区在住の小学生以下の子供とその保護者

・定員：10組20名

・植樹場所：大崎市内の市有林

【参考】森林環境基金積立金の状況

年度	積立金額		取り崩し		積立金残高 (年度末)
	譲与税収入	運用益	金額	用途	
4年度	22,406,000円	37,160円	0円		63,381,192円
5年度	22,406,000円	71,754円	866,000円	・「多摩の森」活性化プロジェクト	84,992,946円
6年度 (見込み)	24,544,000円	101,000円	6,649,000円	・「多摩の森」活性化プロジェクト ・ゼロカーボン啓発品	102,988,946円
7年度 (予算案)	26,383,000円	289,000円	8,791,000円	・「多摩の森」活性化プロジェクト ・「おおさき未来の森づくり」植樹ツアー	120,869,946円